

令和4年度 安来高校道徳教育全体計画

島根県立安来高等学校

関連法規 <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 など 	<h2>学校経営方針</h2> <p>【教育目標】 きびしく 高く 美しく きびしく自らを律し 目標と信念を高く持ち 美しく豊かに生きる 質の高い文武両立により、全ての教育活動を相乗効果を持って充実させる 【スローガン】 「挑戦・熟意・創意・誠意」 生徒の姿：何事にも積極的に挑戦し、目標に向けて熟意・創意・誠意を持って臨む 教師の姿：挑戦する生徒を後押す姿勢 日々の教育活動に熟意・創意を持ち誠意を持ってあたる</p> <p>【重点目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎学力の向上：主体的学習者を育てる <ul style="list-style-type: none"> ① 授業：授業が信頼関係構築の基本。授業で生徒を引き付ける 授業改善：主体的に学びに向かう仕掛け ② 集団づくり：学び合い、切磋琢磨する集団づくり ③ R5年度に向けたICT活用 2. 進路目標設定とその実現：キャリアデザイン <ul style="list-style-type: none"> ① 面談；高い目標設定 生徒を搖さぶる やらされ感でなく本気にさせる ② 適切な情報提供と共有 3. 自己理解・他者理解 諸活動から学びを深化 <ul style="list-style-type: none"> ① 総合的な探求の進化 ② 学校行事・部活動・生徒会活動・地域活動などの充実 ③ 安来分教室との交流 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ① 情報発信；地域からの信頼と応援 ② コンソーシアムの運用；地域との協働 	保護者・地域の期待 <ul style="list-style-type: none"> ・安来地区唯一の普通科高校として、地域の期待は大きい。 ・個に応じた学習指導、各教科における基礎・基本の定着と深化。 ・生徒の進路目標達成に向けての進路指導のさらなる充実。 ・生徒指導、部活動指導をとおして思いやりのある豊かな心の育成。 ・自己表現力の育成。
--	---	--

育てたい生徒像
① よりよい(地域)社会の創り手として、自分自身を律し責任ある行動がとれる生徒
② 新たな価値の創造のために高い理想を持ちその実現に向けて行動し学び(探究)し続けることのできる生徒
③ 地域への愛着を基盤に多様な価値観を認め合う共生社会を生き抜くことができる生徒

道徳教育指導目標
自己の肯定的理解をもとに、自らの進路目標を決定し、目標実現のために他者と協力しながら目前の課題解決に取り組む生徒を育成する。 ① 自立した学習態度の定着をはかり、肯定的自己理解と自己有用感を得させる。 ② 部活動、生徒会活動を通じて他者や役割との関わりを理解し、対処能力を育てる。 ③ 多様な学びの場、働き方についての理解を深め、自らの進路目標を設定させる。

道徳教育学年指導目標		
第1学年	第2学年	第3学年
目標 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校生活での諸活動に積極的に参加させ、誠実かつ主体的に行動できる人間的基盤を育成する。 ② 学力向上を目指すため、予習・授業・復習の学習習慣を徹底させる。 ③ 自己理解を深め高い進路目標を設定し、実現に向けて自ら行動できるように支援する。 手立て <ul style="list-style-type: none"> ① 【発信力】【他者理解】諸活動において、自分の考えを伝え互いに尊敬の念をもった集団になるよう、コミュニケーション能力の向上を育成する。 ⇒「しまねのふるまい」 ② 【学びに向かう力】規則正しい生活と挨拶・号令を励行し、学びにふさわしい環境を作る。 ③ 【学びに向かう力】ICT を活用し、学級経営に活かすとともに、授業と家庭学習を充実させる。 ④ 【自己研鑽力】【見通しをもつ力】総合的な探求の時間等を活用し、生徒が自分を見つめ直し将来目標を考える機会を作る。 ⑤ 【自己理解】生徒面談を定期的に行い、生徒の思いを受け止めると共に、必要な情報を提供する。 	目標 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校の核となる中堅学年としてすべての活動に積極的に挑戦させ、他者を尊重する感性や態度および、主体性・社会性を身につけさせる。 ② 主体的・計画的・継続的な学習習慣を確立させる。 ③ 高校生活と進路の目標を明確にさせ、その実現に向けた行動を実践していくことができるよう指導・助言し、支援する。 手立て <ul style="list-style-type: none"> ① 【見通しを持つ力】掃除や学校行事などを通じて、各自が周囲を見ながら考え動くことができるよう指導する。また、他者への思いやりのある言動を身につけるにはどうしたらよいか自ら考え動くことができるよう、担任・教科担当・部活動顧問等で連絡を密にし、共通理解をもって継続的に指導していく。 ⇒「しまねのふるまい」 ② 【学びに向かう力】学習時間・学習内容などを定期的に調査し、自身の学習状況を客観的に見つめさせ、結果につながる学習習慣を確立させる。 ③ 個人面談、ホームルーム活動、総合的な探求の時間の活動を通して、生徒一人一人が自身の進路について考える機会を設け、適切な情報や資料を提供する。 	目標 <ul style="list-style-type: none"> ① 他者を尊重できる感性や態度および、社会性を持った行動力を身につけさせる。 ② 学校の最高学年としての自觉を持たせ、他学年の模範となるよう、学習・学校行事・部活動・生徒会活動などの学校生活のすべての活動に積極的に取り組ませる。 ③ 主体的・計画的・継続的な学習を支援し、進学先・就職先での姿勢を活かせるよう発展的に指導する。 ④ 生徒個々の進路目標や適性に応じた進路指導体制を確立し、全員の進路希望実現を目指す。 手立て <ul style="list-style-type: none"> ① 【他者理解・肯定力】他者を大切にする集団になるよう、平素のホームルーム活動や学校行事などを通じて学年全体で指導する。⇒「しまねのふるまい」 ② 担任や教科担当・部顧問と連携をとり、学習と学校行事や部活動を両立できるように支援する。 ③ 【自己研鑽力】学習に集中できる環境を提供し主体的に学習に取り組ませるとともに、授業・個人面談などを通じて進路決定後も学び続ける姿勢について指導する。 ④ 学年会や進路検討会により生徒一人一人の進路希望や学力、適性などの情報を共有し、教科指導に反映させ進路希望実現につなげる。 ⑤ 保護者面談や学年便りを利用して保護者との連絡を密にし、進路情報や資料を提供し、生徒・保護者・教員団が一体となって進路目標の実現を目指す。
啓発的・体験的学習 (総合的な探究の時間・HR活動など) 総合的な探究ガイダンス、スタディサポート、図書館オリエンテーション、図書館文化講座、地域理解学習、大学・専門学校ガイダンス、オープンキャンパス、企業ガイダンス、小論文講座、文理選択について考える、進路講演会、職業人講話	啓発的・体験的学習 (総合的な探究の時間・HR活動など) 総合的な探究ガイダンス、スタディサポート、地域理解学習、大学・専門学校ガイダンス、オープンキャンパス、企業ガイダンス、図書館文化講座、小論文講座、進路講演会、職業人講話	啓発的・体験的学習 (総合的な探究の時間・HR活動など) 大学・専門学校ガイダンス、オープンキャンパス、企業ガイダンス、図書館文化講座、小論文講座、志望理由書、消費者講座、進路講演会

教科での取組（生きる力の基盤となる学力の育成）…確かな基礎学力を培い、主体的な学習者を育てる。

教育を推進するための基盤	
○3年間を見通した系統的・組織的な進路指導計画 ○関係諸機関や家庭・地域との連携の強化 ○ガイダンス機能（適切な情報提供や案内・相談活動）の充実 ○生徒指導、学年・学級経営の充実 ○教職員の協働体制の確立と校内研修の実施 【令和4年度教職員研修計画】 ・ハラスマント防止 ・生徒理解（特別支援） ・人権・同和教育について（各学期）	「しまねのふるまい」に係る取組 • 挨拶の励行、目上の人への言葉遣い • 掃除への積極的参加、ごみの分別収集 • 公共マナーの遵守、自転車マナーの遵守